

「9月県議会」が開会、会期は10月4日まで。



2012年6月21日 「6月県議会」本議場で一般質問を行いました。左前方は小川洋県知事です。

「9月定例県議会」は、9月14日に開会しました。会期は10月4日までの15日間です

なお、定例議会終了後、「決算特別委員会」が開催されます。期間は10月30日から11月8日までの予定です。

私は、9月議会でも一般質問に登壇します。昨年6月県議会から数え、5回目の登壇となります。しっかり事前調査、勉強を重ね、質問づくりに励みます。

市民の皆様からは、日々、様々なご要望、ご意見を頂いております。こうしたご要望につきましては、引き続き、県議会を通じ、政策課題実現に向けて尽力して参ります。

1. 9月県議会のポイント。

今議会には、7月の豪雨災害の復旧・復興費約220億円を含む、総額253億円の補正予算案をはじめ、43件の議案が提案される予定となっています。

今年7月、県南地方を襲った豪雨による災害では、県の集計によれば被害総額は700億円超と見込まれています。今回の補正予算案では、こうした豪雨災害被害の復旧対策として総額219億7,500万円が計上されています。

また、飯塚市内住地区の産業廃棄物最終処分場(安定型)問題をめぐり、県が最高裁の上告棄却の判決(敗訴)を受け、年度内にも出される予定の「措置命令」の内容を決定するための調査費として1億6,300万円が計上されています。更に、景気・雇用対策費として29億5,000万円、原子力災害対策として1億7,600万円、消費者行政活性化事業費として3,400万円が、それぞれ計上されています。

2. 一般質問を行います。

私は、今回も一般質問に立ちます。今回の質問項目は、都市問題シリーズ第3弾「都心部における二輪車駐車場問題について」、②「公契約条例について」、以上の2点を考えています。是非とも県議会傍聴にご参加ください。

3. 今議会の会派代表質問は原竹岩海議員が行います。

今議会の会派代表質問は、原竹岩海議員(筑紫野市:3期目)が行います。

代表質問の骨子は、今年7月の会派のマンマー視察をもとにした①本県のアジア戦略をはじめ、②豪雨被害対策について、③産廃行政について、④人権施策の推進について、⑤景気・雇用対策について、⑥教育問題について、⑦警察行政について、以上です。

我が会派の代表質問は9月21日の午後の予定です。